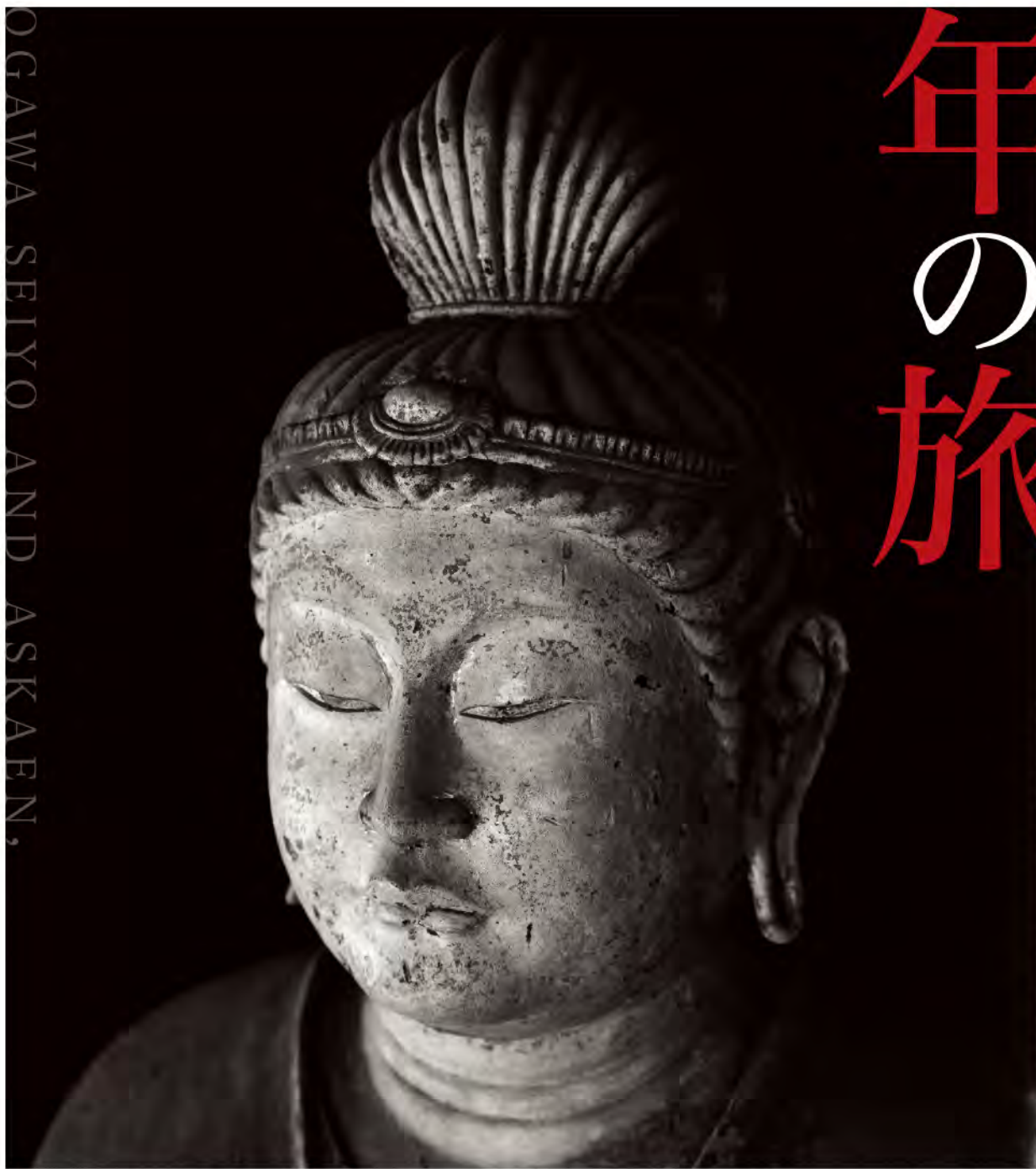


岡田文化財団設立45周年記念

小川晴暘と飛鳥園 100

A CENTENNIAL JOURNEY
OGAWA SEIYO AND ASKAFEN

年の旅



小川晴暘「東大寺法華堂伝月光菩薩像」飛鳥園所蔵 © Askafen Inc

2024 **11.30** 土

2025 **1.26** 日

休館日：12月28日(土)-1月1日(水・祝)

開館時間 午前9時30分～午後5時30分
(入館は午後5時まで)

入館料 一般1,000円(4枚セット券3,000円)
大学生800円/高校生500円/中学生以下無料
主催 公益財団法人岡田文化財団パラミタミュージアム
毎日新聞社

特別協力 飛鳥園
後援 中日新聞社、読売新聞社、朝日新聞社
三重テレビ放送

関連イベント ※イベントの詳細については、公式HPをご確認ください

- 記念講演会
演題：「飛鳥園の100年」
日時：12月8日(日) 午後2時～
講師：小川光太郎(株式会社飛鳥園社長)
- パラミタコンサート
「オーボエ×マリンパによる木のぬくもりコンサート」
日時：2025年1月12日(日) 午後2時～3時
演奏者：山本真輝(オーボエ)、村島榮舞(マリンパ)

**paramitamuseum**

公益財団法人岡田文化財団パラミタミュージアム
〒510-1245 三重県三重郡菟野町大羽根園松ヶ枝町21-6
Tel.059-391-1088 Fax.059-391-1077

 つなぐ、ひろがる。
45th Anniversary
公益財団法人 岡田文化財団

小川晴暘と飛鳥園

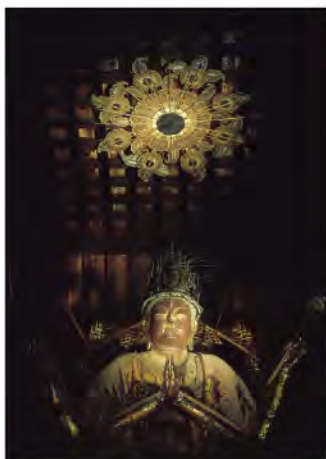
100年の旅

写真家・小川晴暘（おがわ・せいよう 1894-1960）が創立し、2022年に創立100年を迎えた仏像撮影専門の写真館「飛鳥園」の歩みをご紹介します。

兵庫県姫路市に生まれた晴暘は、1922年、會津八一の勧めで奈良に「飛鳥園」を創業しました。東洋美術の研究にも熱中し、中国の雲岡石窟、韓国の石窟庵、仏国寺、カンボジアのアンコールワットなど、アジアの文化遺産の調査・撮影も積極的に行いました。

小川晴暘の写真は、記録という枠を超えて、仏像写真を芸術の域にまで昇華させた画期的なものでした。

本展は、小川晴暘・光三親子の写真作品を中心に、文化財保護活動を支えると同時に仏像写真を芸術の域に高めた飛鳥園の活動を振り返ります。晴暘が遺したスケッチや拓本、「東洋美術」などの資料もあわせ、古美術・文化遺産を愛した小川晴暘という人物の姿にも迫ります。また、現在も活動を続ける飛鳥園が近年撮った写真もまじえ、飛鳥園という「眼」がレンズを通して切り取った100年のまなざしを感じていただく展覧会です。



小川晴暘 1:「雲岡石窟」 2:「新薬師寺金堂 十二神将・伐折羅大将像」
3:「法隆寺 観音菩薩像（百済観音像）」
4:「中宮寺 菩薩半跏像（伝如意輪観音菩薩像）右斜側面」
右上の写真:「東大寺法華堂 不空罽索観音菩薩像 光背」

小川光三 5:「東大寺法華堂 不空罽索観音菩薩像と天蓋」 6:「興福寺 阿修羅像」
7:「聖林寺 十一面観音像 頭部左側面」 8:「唐招提寺金堂 千手観音菩薩像 右斜側面」

写真作品:すべて飛鳥園所蔵©Askaen.inc

次回展示のお知らせ

会期 2025.2.1(土) ▶ 3.30(日) ※会期中無休

藤田嗣治 7つの情熱 LES 7 PASSIONS DE FOUJITA

本展は、カタログ・レゾネを編集した藤田嗣治研究の第一人者であるシルヴィー・ビュイツソン氏監修のもと、藤田が幼少期より潜在的に育んだ7つの情熱をテーマに据え、フランス各地に所蔵される作品を中心に展覧し、フランスにおける研究の視点からその画業を読み解きます。また、彼の情熱を育て受け継いでいった日本人画家たちの油彩作品も合わせて紹介します。

■お車をご利用の場合／○東名阪[四日市IC]より湯の山温泉方面へ約6.5km ○新名神[菟野IC]より約4km ■無料駐車場有り(普通車100台、大型バス駐車可)
■電車をご利用の場合／近鉄[四日市駅]より近鉄湯の山線にて約25分、「大羽根園駅」下車、湯の山温泉方面へ300m ■全館バリアフリー、車椅子常備

